

# 絹糸と紙コップが奏でる「癒しの音色」 ストリングラフィ待望の1stアルバム完成

<収録曲>

M1.青磁「雨の色」より / SEIJI from "The Color of Cocoon"

(2005年) 02'58"

M2.トカトガ / TOKATOKA

(2004年) 08'05"

M3.晩秋 / Fading Autumn

(2000年) 10'48"

M4.葉苑「雨の色」より / SHION from "The Color of Cocoon"

(2006年) 03'04"

M5.サクラル / SAKURARU

(2006年) 07'41"

M6.森の記憶 / A Memory of Forest

(1997年) 02'32"



何度聴いても、この凛と研ぎ澄まされた音の集まりが、絹糸と紙コップから生まれ出た音色だとは信じられない。出会いに感謝の1枚です！(50代 主婦)

不思議な音色。不安定？ともいえるけれど、「儚さ」や「切なさ」、「郷愁」みたいなものを感じました。(30代 会社員男性)

絹糸の音の中に包まれているような心地よさで、とってもち癒されます。(50代 介護福祉関係 女性)

風の音！？小鳥のさえずり…？どこか懐かしさ、儚さを感じさせる美しい音色。あなたは日本で生まれた創作楽器“ストリングラフィ”をご存知ですか？！まずは動画サイトで“ストリングラフィ”と検索。パソコンの無い方は、巨大な糸電話を五線譜のように張り巡らせ、演奏者が踊りながら演奏するというパフォーマンスを想像してみてください。目を閉じて、数百年の糸電話の両端にある紙コップから降り注ぐ音のシャワーに包まれれば、極上のリラクゼーション体験を得られることでしょう。日本で生まれた楽器ならではの、繊細で美しい響き。楽器の考案者でもある水嶋一江が作曲した色彩豊かなオリジナル楽曲群は、四季の移りや美しい自然を想起させるものばかりです。「ソロモン流」(テレビ東京)「ザ・ベストハウス123」(フジテレビ)他、テレビにも幾度と無く取り上げられ、フランス、スペイン、香港など世界各国のアートフェスティバルに出演、絶賛を浴びるなど今大注目の“水嶋一江&ストリングラフィ・アンサンブル”が放つファーストアルバム『「森の記憶」A Memory of Forest』。芸術の秋、糸電話楽器が奏でる癒しの音楽に耳を傾けてみては？！

Kazue Mizushima & Stringaphy Ensemble

「森の記憶」A Memory of Forest

HDCS-71201

定価(税込み)：1,500円 (tax in.)

レーベル：hadalrecords

2012年 11月21日 発売

www.stringaphy.com

